

⑦平和之礎（白山町二本木）

昭和 20 年 6 月 26 日、日本の戦闘機・飛燕ひえんが B29 爆撃機に体当たり攻撃し、飛燕は白山町二本木地区周辺、B29 は白山町倭地区に墜落しました。

津市白山郷土資料館には、これらに関する資料が展示されています。



⑧谷中の碑（美杉町八知）

昭和 20 年 7 月 24 日、本土爆撃に飛来した B29 爆撃機から谷中地区たんなかに落とされた爆弾により、薬草取りや川遊びをしていた子どもを含む 7 名が犠牲になりました。

平成 8 年、この痛ましい出来事を後世に伝えるため、現在の地に碑が建てられました。



平和学習マップ

戦後 75 年以上が経過し、人々の記憶の中から戦争の惨禍が忘れ去られようとしています。これら歴史の記憶をとどめ、現在から未来への「平和」につなげる教訓として、市内に残る戦争に関わる場所や出来事を紹介します。

○三重海軍航空隊の戦後

昭和 17 年(1942)8 月、少年兵の養成を目的として香良洲に開設された三重海軍航空隊（通称:予科練よかれん）は、戦争終結後の昭和 20 年(1945)9 月、戦後の残務整理が完了して解隊となりました。

その後、施設の一部は学校校舎などに再利用されました。



①正門（昭和 49 年に移築復元）



三重海軍航空隊の範囲（太線内）
※香良洲町域の約 1/3 の面積を占める広さであった。



②レンガ塀（旧正門付近）
（令和 5 年に解体）



③繫船池（改修し香良洲漁港として利用）
（令和 5 年に解体）



汽缶場と煙突（平成 11 年に解体）

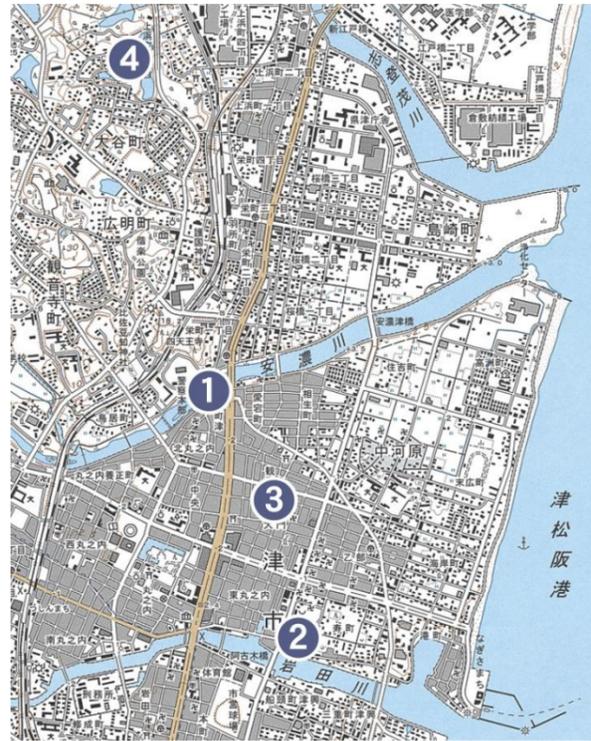
○戦争の傷跡・平和への願い

①旧塔世橋の欄干（万町津）

安濃川に架かる国道 23 号塔世橋の南詰に、空襲の傷跡が残る万成花崗岩製の旧塔世橋の欄干の一部が保存されています。



旧塔世橋の欄干



②藤堂家墓地（寿町）

津藩藤堂家の菩提寺である寒松院は、空襲で建物を全て焼失しました。津藩及び久居藩の歴代藩主墓地には、空襲により破損した墓石があります。



津藩第 4 代藩主藤堂高睦の墓

③観音寺（大門）

津の名所として賑わった観音寺。空襲で建物を全て焼失しましたが、境内には戦禍をくぐりぬけた銅造地藏菩薩坐像・梵鐘・銅灯笼・銅造水盤などが残っています。



観音寺 銅造地藏菩薩坐像

④勤労働員学徒供養塔（上浜町 6 丁目）

勤労働員で来ていた名古屋市立機械工業学校の教師と生徒 15 名が、昭和 20 年 6 月 26 日と 7 月 24 日の空襲で亡くなりました。



勤労働員学徒供養塔



⑥軍馬軍犬之碑（久居野村町）

戦場へ徴用され、犠牲となった軍馬や軍犬、伝書鳩のための碑。この近くには、旧陸軍の「陸軍墓地」があります。



⑤旧神戸国民学校の周辺（神戸）

昭和 20 年 4 月 7 日、神戸地区が爆撃を受け、住民や神戸国民学校の教員 58 名が死傷しました。神戸乃神社の建物や額、集落のレンガ壁には、今も爆撃の痕跡が残っています。

弾痕の残るレンガ塀

